陳 情 文 書 表

【平成28年第4回横手市議会12月定例会】

番号	受理年月日	件名	要旨	陳情者氏名	付託委員会
28 第12	Н28. 10. 19	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求めることについて	政府の専門調査会が発表した 2025 年の必要病床数は 115~119 万病床であり、既存病床数と比べると 15~19 万病床少なく、今後大幅な削減を求められることになる。 国が一方的に病床削減を強いることは、地域の医療ニーズに十分応じることができなくなるおそれがあるばかりでなく、結果的に地域の医療提供体制を崩壊させることになりかねない。 都道府県が策定する地域医療構想が、地域の実情に応じた内容となるよう、推定方式の抜本的な見直しについて関係行政庁に対し意見書を提出されたい。		厚生

番号	受理年月日	件 名	要旨	陳情者氏名	付託委員会
28 第13	Н28. 10. 21	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求めることについて	現在政府内で2017年通常国会に向けた介護保険制度の 見直しの検討が進められているが、その中には、さらな る給付の削減・負担増を図る内容が盛り込まれている。 給付を抑制することは介護難民を増やしてしまうこと になりかねない。また、家族の介護負担を増大させる内 容の見直しは、政府が掲げる「介護離職ゼロ」政策に反 するものである。 介護保険制度の給付対象の縮小と利用者負担増の検討 を中止し、制度の充実・改善を図るため、下記の事項に ついて関係行政庁に対し意見書を提出されたい。 1. 生活援助をはじめとするサービスの削減や利用料の 引き上げを実施しないこと。 2. 家族の介護負担が軽減されるよう制度を抜本的に改 善し、施設などの整備を早急に行うこと。 3. 介護従事者の大幅な処遇改善、確保対策の強化を図 ること。 4. 上記を実現するため、政府の責任で必要な財政措置 を講ずること。	秋田県社会保障推進協議会	厚生

番号	受理年月日	件名	要旨	陳情者氏名	付託委員会
28 第14	H28. 10. 21	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求めることについて	本年6月2日に公表された「経済財政運営と改革の基本方針2016」では、社会保障分野において、負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化をはじめとする改革を進めるとしている。さらに、財政制度等審議会は改革の方向として、受診時定額負担の導入など、さらなる患者負担増をもたらす制度設計を提言している。さらなる患者負担増は多くの国民から医療を遠ざけ、とりわけ治療が長期にわたる高齢者の生活を圧迫することになる。ついては、「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求めることについて関係行政庁に対し意見書を提出されたい。	秋田県社会保障推進協議会 外1名	厚生

番号	受理年月日	件 名	要旨	陳情者氏名	付託委員会
28 第16	Н28. 11. 25	「えがおの丘」温水プールの存続について	横手市では、財政上の理由から温泉施設の統廃合を進める予定であり、その手始めとして今年度末をもって「えがおの丘」の運営を市が行わない方針と聞いている。 当施設は、市内の他の温泉施設と違い、温水プールなどが整備された温泉保健施設である。市は赤字を理由にやめたいとされているが、プール特有の機能が人の健康に及ぼす効果を見ると、市の財政負担をはるかに上回るメリットを当該プールは市財政にもたらしてきた。 今後、高齢化率が更に加速するといわれている中で、市有の温水プールは今こそ大事にすべきである。医療費の増大を抑え、また、高齢者の社会参加を進めるためにも、高齢者の健康寿命の増進を実現することへの投資は必要不可欠であり、当該プールの存続に向けて再検討を願いたい。 [1,733名の署名の添付有]	えがおの輪	産業建設
28 第17	Н28. 11. 28	福地小学校跡地への福地地区拠点施 設の建設について	福地地区会議では、3年間にわたり福地小学校の跡地利活用と地区交流センターの設置について議論してきた。その結果、老朽化した現在の福地公民館に代わり、福地小学校跡地に地域の拠点施設を建設する方向でまとまり、なおかつ、地区住民の総意としての結論に至ったところである。 新たな拠点施設の建設と併せて、①健康増進や集会等の施設としての体育館の整備、②老朽施設の解体と駐車場等の整備、③世代間交流エリアとしての一体的な整備を図られたい。	福地地区会議	総務文教